



7月 **国家資格につながる**

実務者研修科

受講料 無料
※テキスト代等は自己負担

- ★実務者研修修了は介護福祉士国家試験受験に必須です。
- ★介護職員実務者研修修了証明書を発行します。（修了要件を満たした方のみ）
- ★実務者研修修了者は「サービス提供責任者」に就くことが可能です。

介護福祉士実務者研修の資格取得を目指すコースです。

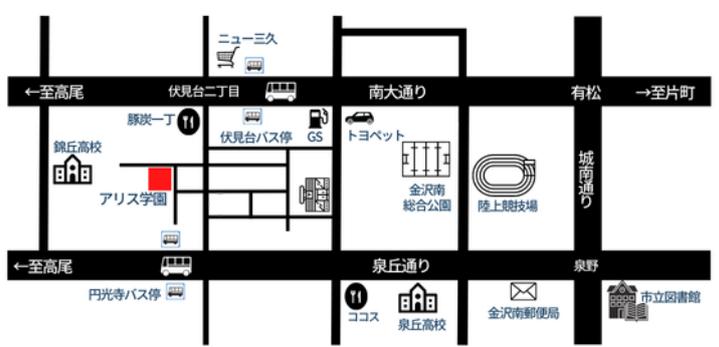
※この訓練は、石川県が選考した機関に委託して離職者の就職支援を行うものです。

- 募集対象**
就職を強く希望される方で、公共職業安定所長の受講指示等を受けられる方
- 訓練期間・訓練時間**
6か月
9:00～15:30(6時間)
- 定員**
10名（6名より開講予定）
※選考により受講者を決定します。
- 実施予定施設**
専門学校アリス学園 円光寺または伏見台バス停
〒921-8176 徒歩10分
金沢市円光寺本町8-50 無料駐車場有
TEL:076-280-1001 学校まで280m 徒歩3分

- 自己負担額**
教科書代14,080円【必須】
訓練生総合保険料4,900円+振込手数料【必須】
※金額が変更となる場合があります。
※体験学習・職場体験等にかかる交通費は自己負担になる場合があります。
- 面接実施場所**
専門学校アリス学園
※面接時間は受験票にてご確認ください。
受験票は申込締切後1週間程度でお手元に届きます。
- 開講式**
令和7年7月23日（水）午前9:00から
専門学校アリス学園にて行います。
※午後授業があります。

**施設見学ご希望の方は
お気軽にお問合せください**
専門学校アリス学園 ☎0760-280-1001

開講月	申込締切	選考（面接）日	合格発表日	開講日・終了日
7月	7月2日（水）	7月11日（金）	7月14日（月） ※この日に金沢産業技術専門学校より発送及び掲示します。	令和7年7月23日(水)～令和8年1月22日(木) 訓練休：原則として土・日・祝日 夏季休暇：8/13～8/15 冬季休暇：12/29～1/3 その他：8/12 就職活動日：令和7年12月22日(月)



- <雇用保険受給資格者の方>
 - ・訓練期間中、雇用保険（基本手当）の支給が延長されます。
 - ・一定の要件がありますので、詳しくは最寄りのハローワークにてお問い合わせください。
- <雇用保険を受給できない方>
 - ・一定の支給要件を満たす方には、訓練期間中、職業訓練受講給付金が支給されます。
 - ・支給要件は最寄りのハローワークにてお問い合わせください。
- 受講申込**
各公共職業安定所（ハローワーク） 職業訓練相談窓口まで
- カリキュラムに関するお問い合わせ先**
<専門学校アリス学園>
〒921-8176 金沢市円光寺本町8-50 ☎076-280-1001
- その他のお問い合わせ先（受験票など）**
石川県立金沢産業技術専門学校
金沢市観音堂町〒9 ☎076-267-2221

訓練カリキュラム

5-07-17-127-05-0127

実施施設名	専門学校アリス学園			
訓練科名	7月国家資格につながる実務者研修科			
定員	10名		就職先の職務 社会福祉施設、介護事業所、病院等における施設介護員、訪問介護員	
訓練期間	令和7年7月23日	～ 令和8年1月22日 (6か月)		
訓練時間	9:00	～ 15:30		
訓練概要	介護に関する幅広い利用者に対する基本的な介護提供能力を習得し、今後の制度改正や新たな課題・技術・知見を自ら把握できる能力を深めるとともに、職務や職場での人間関係に適切に長く継続するための職業人としてのビジネスコミュニケーションを高め、意欲と向上心を持って社会福祉施設・介護事業所や病院等での介護業務に従事できる人材を目指します。			
訓練目標	社会福祉および関連領域の基礎知識と介護の技術・専門知識を理解し、さらに医療的ケアの演習を通して、吸痰・経管栄養の知識・技能を深め、実務者研修修了を目指し、介護従事者として介護全般の業務ができる即戦力となる人材となることを目標とします。			
訓練内容	科目	科目の内容	時間数	
	行事	オリエンテーション	6H	
	就職支援	自己紹介、評価方法、福祉の価値観、資格の取り方適職調査、福祉施設種別・活動訪問にあたって、希望施設選定・法人説明会、目標設定、自己理解、職業意識、キャリアアンカー探し、ダイヤグラム作り、ジョブカードの作成・活用	39H	
	人間の尊厳と自立	①人間の尊厳、自律の支援 ②ノーマライゼーション ③利用者のプライバシーの保護権利擁護等介護の基本理念	12H	
	社会の理解 I	①介護保険制度の成立の背景 ②制度の目的、サービスの種類および内容 ③介護保険の申請から利用までの流れ ④介護保険の利用にあたっての利用者負担等の内容について利用者への助言	9H	
	社会の理解 II	①家族、地域、社会との関連からの生活と福祉 ②社会の生活のしくみについて理解 ③地域共生社会の実現に向けた制度や施策の理解 ④地域包括ケアのしくみ ⑤社会保障制度の発達、体系、財源 ⑥障害者総合支援法の体系、目的、内容、介護実践に関連する諸制度の概要	36H	
	介護の基本 I	①介護福祉士制度 ②尊厳の保持、自立に向けた介護の考え方や展開 ③介護福祉士の倫理	12H	
	介護の基本 II	①介護を必要とする人の生活の理解と支援、自律に向けた介護②介護実践における連携 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント ④介護福祉士の安全	24H	
	介護過程 I	①介護過程の基礎的知識 ②介護過程の展開 ③介護過程とチームアプローチ	24H	
	介護過程 II	①介護過程の展開の実際 ②必要な利用者の状態を理解	30H	
	コミュニケーション技術	①介護におけるコミュニケーション技術 ②介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション ③介護におけるチームのコミュニケーション ④利用者の感覚・運動・認知等の機能に応じたコミュニケーション技法の選択を理解	24H	
	発達と老化の理解 I	①老化に伴う心の変化と日常生活への影響、②老化に伴うからだの変化と日常生活への影響	12H	
	発達と老化の理解 II	①ライフサイクル各期の発達の定義 ②人間の成長と発達を学ぶ過程で欠かせない老年期の発達・成熟と心理 ③高齢者に多い症状・疾病等と留意点	24H	
	認知症の理解 I	①基礎的知識 ②今日的な認知症ケアの理念認知症ケアの理念 ② 認知症による生活上の障害、心理、行動の特徴 ③ 認知症の人とのかかわり・支援の基本	12H	
	認知症の理解 II	①医学的側面から見た認知症の理解 ②認知症の人の諸情報を得てアセスメント、本人主体の理念に基づいた支援 ③ 認知症による障害 ④、地域におけるサポート体制	24H	
	障害の理解 I	①障害者福祉の理念 ②障害による生活障害、心理・行動の特徴 ③障害児者や家族へのかかわり・支援の基本	12H	
	障害の理解 II	①医学的側面から見た障害の理解 ②、障害者の特性、家族、社会関係、住環境についてアセスメントし、状況に合わせた支援について理解 ③地域におけるサポート体制	24H	
	こころとからだのしくみ I	介護に関係した身体の仕組みの基礎的な理解（移動・移乗、食事、入浴・清潔保持、排泄、着脱、整容、口腔清潔等）	24H	
	こころとからだのしくみ II	①人間の心理 ②人体の構造と機能 ③身体の仕組み、心理・認知機能等を踏まえた介護におけるアセスメント・観察のポイント、介護・連携等の留意点	72H	
	医療的ケア（講義）	①口腔内、鼻腔内、気管カニューレ内の吸引前・吸引中・吸引後の利用者の状態観察を理解するとともに、吸引前・吸引中・吸引後の留意点を習得 ②胃ろう（腸ろう）、経鼻経管栄養の注入前・中・後の利用者の状態観察を理解するとともに、注入前・中・後の留意点を習得 ③ 医療職と介護職との連携状況を把握し、各職種役割を明確に理解	60H	
	筆記試験・振り返り	筆記試験・振り返り	3H	
	自立支援	自立支援（水分、栄養、排便、運動）	3H	
	介護業務の効率化	介護現場ICT化の現状、課題、デジタル化に向けて	6H	
	実技	生活支援技術 I	①生活支援と ICF ②ボディメカニクスの活用 ③ 自立に向けた生活支援技術の基本 ④利用者の生活環境の整備（住環境の整備・福祉用具の活用）	24H
		生活支援技術 II	①環境整備、移動移乗、食事、入浴・清潔保持、排せつ、着脱、整容、口腔清潔、休息、睡眠、人生の最終段階における介護、福祉用具の活用、などについて利用者の心身の状態に応じた、自立に向けた生活支援技術を理解、実施	48H
		介護過程 III	①介護過程の展開の実際 ②介護技術の評価	54H
		医療的ケア（演習）	① 医療的ケア実施の基礎を理解し安全・適切に実施 ②喀痰吸引、経管栄養の基礎知識をもとに技術を習得、手順に従って実施 ③救急法蘇生法演習	48H
		体験学習	福祉用具施設（2か所）、体験学習目標設定	12H
		職場体験	施設での介護サービス・障害福祉サービスの補助（2か所）	12H
	計	総訓練時間	690時間（学科 492時間 実技 198時間）	
取得可能な資格・検定 (別途資格試験等の受検を要するもの)				
修了時取得できる資格等 (修了時別途資格試験等を受検することなく取得できるもの)	介護福祉士実務者研修修了(修了要件を満たした方のみ)			
過去に実施した職業訓練の就職率（類似分野）	令和4年度	96.7%		
	令和5年度	89.7%		
	令和6年度		※訓練中	
主要な機械設備	介護用ベット、車いす、特別浴槽、シャワー浴槽、一般浴槽、医療的ケア用			

※記載内容について、一部変更となる場合があります。